

～～第 8 8 1 6 回～～

安倍城址（清掃登山）

～R 1. 1 2. 1 4～

安倍城址は、JR 静岡駅から北西へ約 6km の地点にあり、安倍川に架かる狩野橋を渡って左側に見える山だ。標高は約 435m で、安倍城の築城年は不詳であるが、この山頂に南北朝動乱の時代(1336 年～1392 年)に南朝方についた武将・狩野介貞長が築城した(14 世紀前半か)。狩野氏は、北朝方の今川氏と攻防を繰り返していたが、南北朝統一後は今川氏に恭順した。永享 5 年(1433 年)に駿河の内乱(今川家の家督争い)が勃発すると、狩野氏は、家督を相続した今川範忠に対し反旗を翻して挙兵した。しかし、逆に今川貞秋らによって攻められて敗走し、その頃安倍城の使命は終わり、15 世紀前半には廃城したとされている(ただし、廃城の時期には諸説あり)。安倍城は、山頂の本曲輪を中心として、四方に複数の砦を配した広大な城砦群を形成している。安倍城址に登るにはいくつかのコースがあるが、羽鳥の洞慶院口を選んだ。9:23 静岡駅前バス停で藁科線に乗車し、9:45 羽鳥バス停で降車すると久住谷川に沿って洞慶院に向かった。洞慶院は、2 月には梅の名所となる。梅林の奥に登山口があり、山道の脇には 33 体の石仏が続く。10:30 登山開始。石仏を数えながら、11:13 第 33 番の石仏に到着し、小休憩。11:44、2 本目の鉄塔に到着。小休憩後、山頂に向かってひたすら登ったり下ったり。山頂の手前には堀切の跡とみられる窪地がある。登頂直前、既に登頂した静岡東支部会員の集団とすれ違い、あいさつを交わし健闘をたたえ合った。12:05 安倍城址到着。山頂は安倍城の本曲輪であり、「安倍城跡」と彫られた石碑が立っている。山頂東側は樹木が切り開かれ、安倍川をはさんで静岡市街と駿河湾の眺めが素晴らしい。もちろん富士山の眺めも良い。山頂で 60 周年記念誌に載せる集合写真を撮った。快晴であったが風が強く、風を避けながら昼食を摂った。12:40 西ヶ谷運動場に向かって下る。下山途中も堀切の跡とみられる窪地を通過する。下りの勾配は急で、足元に気を付けながら下る。13:20 銀杏の木が植えられた場所を通過する。黄色の葉が斜面に散りばめられてきれいだ。しかし、登山道にも銀杏の葉が散って滑りやすい。慎重に歩を進めると、やがて沢の音が聞こえてきた。13:30 沢に架かる木道を渡ると急な下りは終わり、解散場所の西ヶ谷運動場は、もうすぐだ。西ヶ谷運動場は、陸上競技場、屋内水泳場、球場を備えた総合運動場である。解散後は、近くのバス停で乗車し静岡市街に向かった。清掃登山だったが、マナーが行き届き、ごみは少なかった。

参加者：28 名（静岡北 25、静岡南 2、ゲスト 1）

天気：晴れ

地図：牛妻・静岡西部

コースタイム：静岡駅前バス停 923＝羽鳥バス停 945…洞慶院登山口 1030…安倍城址山頂 1205-40…西ヶ谷運動場 1348

記録：静岡北支部 渡水

